

チャレンジ工房News

第59号

平成28年2月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

イラスト Aya・keiko

工房の日々 ～それぞれの研修・作業風景～

今年も早いもので、年が明けて1ヶ月がたちました。

所員・スタッフともに、年末年始休暇中は各自、心身ともにゆっくり過ごすことができ、word のスキルアップをしたいという所員さんもおれば、インターネットの勉強に挑戦したいという人も・・・カレンダーや名刺作成などの工賃仕事を頑張っていきたいという所員さんも・・・、一人ひとりしっかりとした今年の目標をもって、毎日の研修や工賃仕事に取り組んでいます。

Aさん

去年の夏ごろより、パソコンを使った事務系での再就職を目指し、当工房に入所してきたAさんは、入所後、約半年余りでWord基礎のテキストをやり終えられて、今月よりword応用のテキストの研修に挑戦されます。



入所当時は、Aさん自身の障害の特性上、思うようになかなかマウスやキーボードの操作ができなかったり、当工房のテキストでの自習形式の研修方法になかなか馴染むことができずに、苦勞されていました。

コンピュータのユーザー設定などをうまく活用したり、2,3回基礎のテキストやwordドリルの基礎のテキストレベルの部分を繰り返し、学習されているうちにテキストでの研修に少しずつ慣れてきたようで、そのことがAさんなりの自信へとつながっているような気がします。

「工房でお小遣い程度稼げるような工賃仕事をしたい・・・」と私達スタッフに話してくれ、今現在、市との協働事業のWebサイト「市民活動の広場あまがさき」のイベントカレンダーの入力作業を頑張っていて貰っています。

またAさんは、入所当時から「word・Excelの資格を取れるようにしっかり勉強して、再就職を目指したい」と話されていることもあって、工房で工賃仕事やパソコン研修を日々積み重ねることによって、是非目標を達成して貰うことができればと思っています。

Bさん

趣味は、サッカー。自称・車いす1級整備士のBさんは嬉しいことに、いつも「所長。所長の車いす整備しにきたで。」と言って、いつも持参されているノートパソコンを開く前に、私の車いすのヘッドレフトの位置を私の体幹が安定する位置に調整して下さいます。

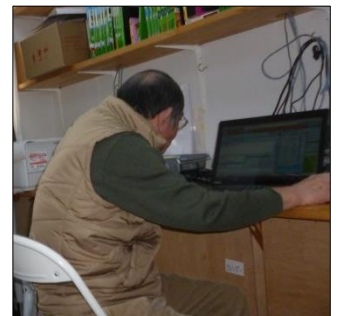
その腕前は、さすが一級車いす整備士という腕前・・・

私の体幹が一番安定するヘッドレフトの位置や角度を把握してくれてるようで、ひと目見るだけで、「所長、ヘッドレフトずれてるから、調整しとくで」と毎回のように調整して下さいます。ありがたい話です。

今年は、wordのパソコン技術をもう少しスキルアップしていきたいとのことで、今Bさんには、wordの基礎・応用のテキストの復習を兼ねて「word演習問題集」をして貰っています。

「word演習問題集」は、文書の入力の基礎レベルの問題から高度な文書編集などの応用レベルの問題まで、組み込まれていて、「所長、おれそなんまだ習ってないで」と笑いながら言いつつ、コツコツされています。

これからもBさんなりに、パソコンを楽しみながら、「演習問題集」を一冊制覇してもらいたいです。



2月・3月の予定

3/3(木) 尼うえるフェア店内販売
10:00～15:00

※当工房は、4月始まりのカレンダーとポストカードを販売します。

3/5(土) うず潮まつり
10:00～13:00
大庄支所

1.17 を忘れない防災訓練に行ってきました・・・



毎年、1.17の「防災の日」(阪神・淡路大震災が発生した日)の前後に、市内6地区に分かれての「1.17を忘れない防災訓練」があり、今年は1月15日に若狭小学校にて行われ、広瀬と私で参加してきました。

この訓練は、私たち兵庫県民にとって、決して忘れることはできない阪神・淡路大震災で経験した教訓を活かし、近い将来発生されると予測されている南海トラフ巨大地震に備えて、地域の防災意識などを高めることを目的とした訓練です。

当日は、「13時20分過ぎに和歌山県の紀伊半島沖でマグニチュード

9の巨大地震が発生し、110分後に尼崎港に最大5mの津波が押し寄せてくる」という想定のもとで、行われました。

13時15分頃、若狭小学校隣の公園に地域の方や地域の消防団の方々と集合して、若狭小学校に行き、「初期消火訓練」や実際校舎の3階まで上がった「津波一時避難訓練」をしました。

「津波一時避難訓練」では、地域の消防団である所員のAyaさんのお父さんをはじめ、5～6名の消防団の方に車椅子ごと抱えて貰って一緒に3階まで避難しました。

階段を上がるときは、前方を向いて上げて貰えるので怖くありませんが、階段を下りるときはどうしても安全上、後ろ向きになって降ろしてもらるので、毎年参加させて貰っているものの、やっぱり身体が硬直してしまうほど怖かったです。

その後、体育館で「応急措置の訓練」や校長先生の講評があり、講評の中で児童の皆さんに「もし、地震などの自然災害が発生したときに、自分の身を守った上でお年寄りや障害がある人たちを見かけたら声をかけて一緒に避難することができる人たちになって貰いたい」と言われていました。

それを聞いて、私たち障害者も日頃から、地域の防災訓練やイベントに積極的に参加していくことで、少しずつでも顔なじみになって貰うことが大事だと改めて思いました。



名刺作成講座をしました・・・°



1月の工房内レクとして、前回の名刺講座に引き続き続編のフリーソフトのラベル屋さんを使っての「名刺作成講座」をしました。

ちょうど、大寒波の日だったのであまり所員さんの参加は少なく残念でしたが、参加していた所員さんのほとんどはパソコンの初心者の人ばかりだったので、ほぼワンツーマンでゆっくりしてもらうことができました。

皆さん初めてにして、ラベル屋さんのテンプレートにある図形やイラストを使って、「凝った名刺」や「独創的な名刺」を思い思いに作られていました

当工房の最年長の所員さんで自ら工務店を営んでおられるCさんは、自分の工務店の名刺を和風チックにかっこよく作られていました。

また、Aさんは「家族やリハビリの先生とかに営業して、名刺作成の工賃仕事を貰おう」とかなり意気込んでおられました。

今年は、レク活動として定期的に「ブログ作成」・「ホームページ作成」・「イラスト・写真」などの入門的な研修会を開き、日々のパソコン研修や工賃仕事につなげていって貰うことができればと考えています。

